

好調な企業投資事業が2号ファンド組成へ！ 10月から出資企業の募集を開始し 2023年初より投資スタート

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、当社グループの企業投資事業の2号ファンドとして Asteria Vision Fund II L.P.（以下 AVF-II）の組成に向けた出資の募集を開始することを発表します。

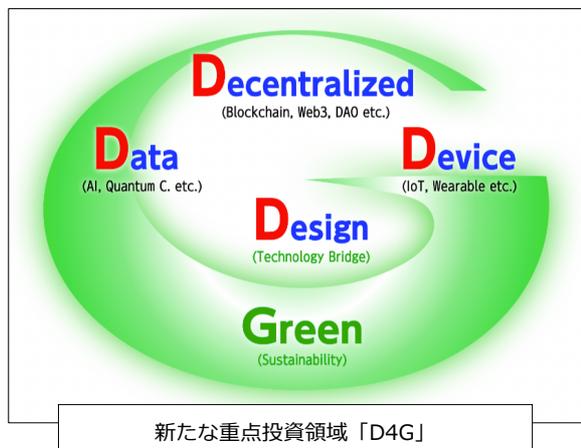
■ Asteria Vision Fund II L.P. 組成の背景と目的

当社グループは、2019年2月に投資子会社 Asteria Vision Fund（略称：AVF）を設立。当社グループの出資に加え、LP^{*1}として肥後銀行（取締役頭取：笠原慶久）の出資を得て投資ファンド Asteria Vision Fund I L.P.（以下 AVF-I）を同年4月に2,200万米ドルで組成しました。AVF-Iでは重点投資領域をアステリアの研究開発戦略と同じ「4D」（Data, Device, Decentralized, Design）とし、6社の企業へ出資を完了しています。出資企業の中から、2022年7月には Gorilla Technology 社が NASDAQ に上場し、同社への約13億円の出資が現時点（9月20日）で約108億円^{*2}の価値となるなど、AVF-Iは既に大きな成果をあげています。

そこで、アステリアでは当社グループのさらなる成長の加速に向け、AVF-IIの組成を決定。新たな重点投資領域を「D4G」（Data, Device, Decentralized, Design for Green）とし、2022年10月から出資企業の募集を開始します。当社の出資を中心とし複数のLP企業により、総額3,000万～4,000万米ドル規模のファンドを組成し2023年初から投資活動を開始する予定です。

■ 組成する2号ファンドの概要

名称	Asteria Vision Fund II L.P.
代表者	吉田晋司（Managing Director）
所在地	米国デラウェア州
組成日	2023年1月（予定）
投資対象領域	重点投資領域「D4G」 Data：AI, Quantum Computing Device：IoT, Wearable devices Decentralized：Blockchain, Web3 Design：Technology Bridge Green：Sustainability
投資企業数	20社程度を予定
ファンド総額	3,000万～4,000万米ドル
期間	10年間（2023～2032年）



■ 参考：AVF-Iで出資した企業（順不同）

社名	主な拠点	事業領域
Gorilla Technology	台湾	動画AI、エッジ・コンピューティング
Space X	米国	ロケット、分散衛星インターネット
JPYC	日本	ステーブルコイン
Workspot	米国	リモートデスクトップ
Imagine Intelligent Material	オーストラリア	グラフェン&センサー
他1社（非公開）	非公開	非公開

■ 業績に与える影響および今後の見通し

AVF-IIの組成が、2023年3月期の業績に与える影響は軽微です。今後投資活動を開始し、中長期的な連結業績に貢献することを企図しておりますが、具体的な影響額等については、必要に応じて開示を行います。

※1：Limited Partnerの略。出資額を上限とする責任を負う、有限責任の出資者。

※2：通期業績予想の想定レートである1米ドル130円で算出。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL:03-5718-1297 / 携帯電話：080-7709-5212（齋藤） / E-mail: press@asteria.com

※アステリア、ASTERIAはアステリア株式会社の登録商標です。本文中の社名等は、各社の商標または登録商標です。